

# 平成28年度事業評価シート

事業名	11100	営業費用(原水及び浄水費、配水及び給水費、総保費、減価償却費他)	担当課	水道部上水道課		内線	2254
予算	会計	16	水道事業会計	総合計画	基本分野	5 基盤・安全	
	款	1	水道事業費用		個別分野	5 上下水道	
	項	1	営業費用		施策の概要	3 上水道事業の経営安定	
	目						
根拠計画	高山市水道ビジョン						
実施計画事業	原水及び浄水施設維持管理事業、配水及び給水施設維持管理事業						

## 1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	上水道利用者全員	対象者数	89,201 人
	どういう状態にしたいのか(意図)	・安全で安心な水を安定して供給する		
概要	事業の実施手法(手段)	・取水から配水池までは指定管理者、配水管以降は市が管理する ・予防的な修繕等の実施により、施設の延命化を図り、経費の縮減を目指す		

## 2 事業の推移・結果(Do)

成果面	H27の実績	水道料金現年度分収納率 99.3% 指定管理委託料 363,679千円 施設修繕 27,462千円、給配水管修繕 26,998千円							
	活動指標	指標名	単位	目標・実績	H27	H28	H29	H30	H31
		水道普及率	%	目標値	100	100	100	100	100
				実績値	99	-	-	-	-
		算出根拠等	現在給水人口/行政区内人口	達成率(%)	99	-	-	-	-
		給水原価(目標値は全国平均で低い方がよい)	円	目標値	163	163	163	163	163
				実績値	147	-	-	-	-
		算出根拠等	給水事業費用/有収水量	達成率(%)	-	-	-	-	-
		目標値	-	-	-	-	-	-	
		実績値	-	-	-	-	-	-	
		算出根拠等	-	-	-	-	-	-	
	成果指標	給水人口	人	目標値	90,000	89,000	88,000	87,000	86,000
				実績値	89,201	-	-	-	-
		算出根拠等	現在給水人口	達成率(%)	99	-	-	-	-
		料金徴収率	%	目標値	100	100	100	100	100
実績値				99	-	-	-	-	
算出根拠等		徴収額/調定額	達成率(%)	99	-	-	-	-	
有収率	%	目標値	80	81	81	82	82		
		実績値	82	-	-	-	-		
算出根拠等	有収水量/給水量	達成率(%)	103	-	-	-	-		
コスト面	事業費(人件費を除き繰越・補正を含む)			H27 決算額	H28 予算額	H29 予算額	H30 予算額	H31 予算額	
	歳出(千円)			(A) 1,475,334	1,501,665	-	-	-	
	受益者負担(使用料・負担金等)			1,475,334	1,501,665	-	-	-	
	その他特定財源(国・県支出金・起債等)			-	-	-	-	-	
	一般財源			-	-	-	-	-	
	コスト指標			(A/B)	16,539	16,835	-	-	
受益者	上水道利用者全員	(B)	89,201	89,201	-	-	-		

## 3 分析・評価(Check) ※平成27年度の実績を評価

評価項目	評価観点	評価基準	評価	評価内容の説明(評価の理由等)
① 市民ニーズの確認	・事業実施に対する市民ニーズの傾向はどうか ・社会情勢の変化など時の経過に伴いニーズは減少していないか	A (2) ニーズが高い	A	・安全安心な上水道への市民ニーズは高い。
		B (1) ある程度のニーズがある		
		C (0) ニーズが低い		
② 市が実施する必要性	・市が事業主体であることは妥当か ・国・県・民間の活動と競合していないか	A (2) 事業主体を見直す余地はない	A	・安全安心な上水道の供給は市の重要な責務である
		B (1) 一部見直しが必要である		
		C (0) 市が実施する必要性が低い		
③ 活動内容の有効性	・目的とする成果があがっているか ・成果指標などの目標値の達成状況はどうか	A (2) 目的とする成果が十分にあげられている	A	・指定管理者制度による施設管理により、適正な管理ができています
		B (1) 目的とする成果がある程度あがっている		
		C (0) 目的とする成果があがっていないため大幅な見直しが必要である		
④ 執行方法の効率性	・最小限のコストで事業を実施できているか ・委託など事業の効率化・省力化に向け実施手法に改善の余地はないか ・国等の補助金の活用など市の財政負担を軽減する余地はないか ・受益者負担は適正か	A (2) 事業効率化・コスト縮減等の改善の余地はない	B	・指定管理者制度を活用し、効率的な施設管理を行っている ・水道業務の委託範囲の拡大について検討を行っている。
		B (1) 事業効率化・コスト縮減等がある程度図られている		
		C (0) 効率化が図られていないため大幅な見直しが必要である		
⑤ 政策面における効果	・事業の実施が市の政策、施策の推進に効果があったか ・総合計画及び主要計画等の目標達成を図る上で有効に機能したか	A (2) 効果があった	B	・給水原価は全国平均を下回っており、概ね適正と言えるが、更なる効率化を目指す必要がある
		B (1) ある程度効果があった		
		C (0) あまり効果が見られなかった		

合計	8 / 10	→	100点換算	80 点
----	--------	---	--------	------

分析・評価で明らかになった課題(FA)評価にするために何が必要なかを記入)	・安定した料金収入の確保が必要であり料金の収納率向上を図る必要がある。 ・施設修繕による延命化を図る。
---------------------------------------	--

(参考) 前年度事業評価結果(二次評価)	・安全安心な上水道の供給のため、施設修繕による延命化を図る。 ・水道料金の収納率向上により歳入を確保する。 ・統合した簡易水道についても同様に実施する。
----------------------	--

## 4 今後の方向性(Action)

課題等に対する28年度対応状況	・料金徴収率向上に向け、給水停止を含めた滞納整理の強化を図る。 ・漏水調査等の実施により、修繕が必要な箇所を把握し効率的な施設運営につなげる。 ・高山市水道水源保全条例により、水源地域での取水排水等を監視・指導する。
-----------------	--

担当課における次年度の考え方	○	維持・改善	拡大	縮小	廃止の検討	H27完了	H28完了予定
	・安全安心な上水道の供給のため、施設修繕による延命化を図る。 ・水道料金の収納率向上により歳入を確保する。 ・高山市水道水源保全条例により、水源地域での取水排水等を監視・指導する。						

# 平成28年度事業評価シート

事業名	21100	原水及び浄水施設費	担当課	水道部上水道課	内線
					2254
予算	会計	16 水道事業会計	総合計画	基本分野	5 基盤・安全
	款	1 資本的支出		個別分野	5 上下水道
	項	1 建設改良費		施策の概要	2 上水道施設の整備
	目	1 原水及び浄水施設費			
根拠計画	高山市水道ビジョン				
実施計画事業	原水及び浄水施設整備事業				

## 1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	上水道利用者全員	対象者数	89,201 人
	どういう状態にしたいのか(意図)	・安全で安心な水を安定して供給する		
概要	事業の実施手法(手段)	・原水の取水設備、浄水設備の整備を行う ・導水管、ポンプ場等の耐震化整備を行う		

## 2 事業の推移・結果(Do)

H27の実績	・上野浄水場監視制御盤更新 ・松倉配水機場非常用発電機更新 等							
	指標名	単位	目標・実績	H27	H28	H29	H30	H31
活動指標	算出根拠等	目標値						
		実績値		-	-	-	-	-
		達成率(%)		-	-	-	-	-
	算出根拠等	目標値						
		実績値		-	-	-	-	-
		達成率(%)		-	-	-	-	-
成果指標	算出根拠等	目標値						
		実績値		-	-	-	-	
		達成率(%)		-	-	-	-	
	算出根拠等	目標値						
		実績値		-	-	-	-	
		達成率(%)		-	-	-	-	
コスト面	事業費 (人件費を除き繰越・補正を含む)	H27 決算額						
		H28 予算額						
		(A)	98,422	427,640	-	-	-	
	財源内訳	受益者負担(使用料・負担金等)		98,422	265,074	-	-	-
		その他特定財源(国・県支出金・起債等)			162,566	-	-	-
		一般財源				-	-	-
コスト指標	受益者1件当たり(円)	(A/B)	1,103	4,794	-	-	-	
	受益者		89,201	89,201	-	-	-	
	上水道利用者全員	(B)			-	-	-	

## 3 分析・評価(Check) ※平成27年度の実績を評価

評価項目	評価観点	評価基準	評価	評価内容の説明(評価の理由等)
① 市民ニーズの確認	・事業実施に対する市民ニーズの傾向はどうか ・社会情勢の変化など時の経過に伴いニーズは減少していないか	A (2) ニーズが高い	A	・安全安心な上水道への市民ニーズは高い。
		B (1) ある程度のニーズがある		
		C (0) ニーズが低い		
② 市が実施する必要性	・市が事業主体であることは妥当か ・国・県・民間の活動と競合していないか	A (2) 事業主体を見直す余地はない	A	・安全安心な上水道の安定供給は市の重要な責務である
		B (1) 一部見直しが必要である		
		C (0) 市が実施する必要性が低い		
③ 活動内容の有効性	・目的とする成果があがっているか ・成果指標などの目標値の達成状況はどうか	A (2) 目的とする成果が十分にあげられている	A	・総合計画をはじめとする各種計画に基づき、施設整備・改良を進めており、目的とする成果があがっている
		B (1) 目的とする成果がある程度あがっている		
		C (0) 目的とする成果があがっていないため大幅な見直しが必要である		
④ 執行方法の効率性	・最小限のコストで事業を実施できているか ・委託など事業の効率化・省力化に向け実施手法に改善の余地はないか ・国等の補助金の活用など市の財政負担を軽減する余地はないか ・受益者負担は適正か	A (2) 事業効率化・コスト縮減等の改善の余地はない	B	・工事にあたっては、コスト縮減を意識した発注を行っている。 ・施設の統廃合等も視野に入れ、事業の効率化を行っている
		B (1) 事業効率化・コスト縮減等がある程度図られている		
		C (0) 効率化が図られていないため大幅な見直しが必要である		
⑤ 政策面における効果	・事業の実施が市の政策、施策の推進に効果があったか ・総合計画及び主要計画等の目標達成を図る上で有効に機能したか	A (2) 効果があった	A	・市長公約である「安全安心な上水道の提供」の実現に効果があった
		B (1) ある程度効果があった		
		C (0) あまり効果が見られなかった		

合計	9 / 10	→	100点換算	90 点
----	--------	---	--------	------

分析・評価で明らかになった課題 (FA)評価にするために何が必要なかを記入)	・更に効率的で安全な施設となるよう水需要を見極め、管理コストの縮減につながるよう老朽化対策や耐震化等を進める必要がある。
--	--

(参考) 前年度事業評価結果 (二次評価)	・総合計画をはじめとする各種計画に基づき、施設整備・改良を進める。 ・配水池等の耐震化事業を実施するとともに、老朽化した機器等を更新する。 ・高山市水道水源保全条例により、水源地域での取水排水等を監視・指導する。 ・統合した簡易水道についても同様に実施する。
-----------------------	--

## 4 今後の方向性(Action)

課題等に対する28年度の対応状況	・下切導水管耐震化整備や老朽化した機器の更新などの事業を適確に執行する。
------------------	--------------------------------------

担当課における次年度の考え方	○	維持・改善		拡大		縮小		廃止の検討		H27完了		H28完了予定
	・総合計画をはじめとする各種計画に基づき、施設整備・改良を進める。 ・配水池等の耐震化事業を実施するとともに、老朽化した機器等を更新する。											

# 平成28年度事業評価シート

事業名	21200	配水施設拡張費		担当課	水道部上水道課		内線
							2254
予算	会計	16	水道事業会計	総合計画	基本分野	5	基盤・安全
	款	1	資本的支出		個別分野	5	上下水道
	項	1	建設改良費		施策の概要	2	上水道施設の整備
	目	2	配水施設拡張費				
根拠計画	高山市水道ビジョン						
実施計画事業	配水施設拡張事業						

## 1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	上水道利用者全員	対象者数	89,201 人
	どういう状態にしたいのか(意図)	・安全で安心な水を安定して供給する		
概要	事業の実施手法(手段)	・配水施設の拡張整備を行う ・江名子配水区域再編等、配水施設の再編を伴う整備を実施する ・水道未給水地域解消のための助成制度に基づき、配水管整備を実施する		

## 2 事業の推移・結果(Do)

H27の実績	石浦地内配水管布設 L=487m 一般受託工事 L=265m							
	指標名	単位	目標・実績	H27	H28	H29	H30	H31
活動指標	管路整備延長	m	目標値	720	2476	1700	1700	1700
			実績値	752	-	-	-	-
	算出根拠等	当該年度の施設拡張管路整備延長	達成率(%)	104	-	-	-	-
			目標値					
成果指標	算出根拠等		実績値					
			達成率(%)					
			目標値					
			実績値					
成果指標	算出根拠等		達成率(%)					
	給水人口	人	目標値	90,000	89,000	88,000	87,000	86,000
			実績値	89,201	-	-	-	-
	算出根拠等	現在給水人口	達成率(%)	99	-	-	-	-
成果指標	水道普及率	%	目標値	100	100	100	100	100
			実績値	99	-	-	-	-
	算出根拠等	現在給水人口/行政区域内人口	達成率(%)	99	-	-	-	-
			目標値					
コスト面			実績値					
			達成率(%)					
	事業費(人件費を除き繰越・補正を含む)		H27 決算額	H28 予算額	H29 予算額	H30 予算額	H31 予算額	
	歳出(千円)	(A)	39,224	100,837	-	-	-	
財源内訳	受益者負担(使用料・負担金等)		39,224	100,837	-	-	-	
	その他特定財源(国・県支出金・起債等)							
コスト指標	一般財源							
	受益者1件当たり(円)	(A/B)	440	1,130	-	-		
	受益者	上水道利用者全員	(B)	89,201	89,201	-	-	

## 3 分析・評価(Check) ※平成27年度の実績を評価

評価項目	評価観点	評価基準	評価	評価内容の説明(評価の理由等)
① 市民ニーズの確認	・事業実施に対する市民ニーズの傾向はどうか ・社会情勢の変化など時の経過に伴いニーズは減少していないか	A (2) ニーズが高い	A	・安全安心な上水道への市民ニーズは高い。
		B (1) ある程度のニーズがある		
		C (0) ニーズが低い		
② 市が実施する必要性	・市が事業主体であることは妥当か ・国・県・民間の活動と競合していないか	A (2) 事業主体を見直す余地はない	A	・安全安心な上水道の供給は市の重要な責務である
		B (1) 一部見直しが必要である		
		C (0) 市が実施する必要性が低い		
③ 活動内容の有効性	・目的とする成果があがっているか ・成果指標などの目標値の達成状況はどうか	A (2) 目的とする成果が十分にあげられている	A	・総合計画をはじめとする各種計画に基づき、施設整備・改良を進めており、目的とする成果があがっている
		B (1) 目的とする成果がある程度あがっている		
		C (0) 目的とする成果があがっていないため大幅な見直しが必要である		
④ 執行方法の効率性	・最小限のコストで事業を実施できているか ・委託化など事業の効率化・省力化に向け実施手法に改善の余地はないか ・国等の補助金の活用など市の財政負担を軽減する余地はないか ・受益者負担は適正か	A (2) 事業効率化・コスト縮減等の改善の余地はない	B	・工事にあたっては、コスト縮減を意識した発注を行っている。 ・施設の統廃合等も視野に入れた効率的な施設整備を行っている
		B (1) 事業効率化・コスト縮減等がある程度図られている		
		C (0) 効率化が図られていないため大幅な見直しが必要である		
⑤ 政策面における効果	・事業の実施が市の政策、施策の推進に効果があったか ・総合計画及び主要計画等の目標達成を図る上で有効に機能したか	A (2) 効果があった	A	・市長公約である「安全安心な上水道の提供」の実現に効果があった
		B (1) ある程度効果があった		
		C (0) あまり効果が見られなかった		

合計	9 / 10	→	100点換算	90 点
----	--------	---	--------	------

分析・評価で明らかにになった課題(FA)評価にするために何が必要なかを記入)	・更に効率的で安全な施設となるよう水需要を見極め、管理コストの縮減につながる施設の統廃合や老朽化対策、耐震化等を進める必要がある。
--	---

(参考) 前年度事業評価結果(二次評価)	・総合計画をはじめとする各種計画に基づき、施設整備・改良を進める。 ・配水施設整備の実施と未給水地域の解消に努める。 ・統合した簡易水道についても同様に実施する。
----------------------	---

## 4 今後の方向性(Action)

課題等に対する28年度への対応状況	・受託等による配水管の整備により、未給水地区解消に努める。 ・江名子配水区域再編事業等の推進により施設の統廃合を進める。
-------------------	---

担当課における次年度の考え方	○	維持・改善	拡大	縮小	廃止の検討	H27完了	H28完了予定
	・総合計画をはじめとする各種計画に基づき、施設整備・改良を進める。 ・配水施設整備の実施と未給水地域の解消に努める。						

# 平成28年度事業評価シート

事業名	21300	施設改良費		担当課	水道部上水道課		内線
							2254
予算	会計	16	水道事業会計	総合計画	基本分野	5	基盤・安全
	款	1	資本的支出		個別分野	5	上下水道
	項	1	建設改良費		施策の概要	2	上水道施設の整備
	目	3	施設改良費				
根拠計画	高山市水道ビジョン						
実施計画事業	水道施設改良事業						

## 1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	上水道利用者全員	対象者数	89,201 人
	どういう状態にしたいのか(意図)	・安全で安心な水を安定して供給する		
概要	事業の実施手法(手段)	・老朽管等の改良整備を行う ・基幹管路の耐震化整備を行う		

## 2 事業の推移・結果(Do)

成果面	H27の実績	老朽管対策及び道路改良に伴う配水管布設替 L=6338m、下水関連布設替 L=309m								
	活動指標	指標名	単位	目標・実績	H27	H28	H29	H30	H31	
		管路整備延長	m	目標値	3,555	4,894	3,000	3,000	3,000	
				実績値	6,647	-	-	-	-	
		算出根拠等	当該年度の施設改良管路整備延長	達成率(%)	187	-	-	-	-	
				目標値						
				実績値						
		算出根拠等		達成率(%)						
				目標値						
				実績値						
		算出根拠等		達成率(%)						
		成果指標	基幹管路耐震化率	%	目標値	21	22	23	24	25
					実績値	22	-	-	-	-
			算出根拠等	耐震化基幹管路延長/基幹管路延長	達成率(%)	105	-	-	-	
					目標値					
実績値										
算出根拠等		達成率(%)								
コスト面	事業費(人件費を除き繰越・補正を含む)			H27 決算額	H28 予算額	H29 予算額	H30 予算額	H31 予算額		
	歳出(千円)			(A)	379,662	437,597	-	-		
	受益者負担(使用料・負担金等)				79,061	232,497	-	-		
	その他特定財源(国・県支出金・起債等)				300,601	205,100	-	-		
	一般財源									
	受益者1件当たり(円)			(A/B)	4,256	4,906	-	-		
コスト指標	受益者	上水道利用者全員	(B)	89,201	89,201	-	-			

## 3 分析・評価(Check) ※平成27年度の実績を評価

評価項目	評価観点	評価基準	評価	評価内容の説明(評価の理由等)
① 市民ニーズの確認	・事業実施に対する市民ニーズの傾向はどうか ・社会情勢の変化など時の経過に伴いニーズは減少していないか	A (2) ニーズが高い	A	・安全安心な上水道への市民ニーズは高い。
		B (1) ある程度のニーズがある		
		C (0) ニーズが低い		
② 市が実施する必要性	・市が事業主体であることは妥当か ・国・県・民間の活動と競合していないか	A (2) 事業主体を見直す余地はない	A	・安全安心な上水道の供給は市の重要な責務である
		B (1) 一部見直しが必要である		
		C (0) 市が実施する必要性が低い		
③ 活動内容の有効性	・目的とする成果があがっているか ・成果指標などの目標値の達成状況はどうか	A (2) 目的とする成果が十分にあげられている	A	・総合計画をはじめとする各種計画に基づき、施設整備・改良を進めており、目的とする成果があがっている
		B (1) 目的とする成果がある程度あがっている		
		C (0) 目的とする成果があがっていないため大幅な見直しが必要である		
④ 執行方法の効率性	・最小限のコストで事業を実施できているか ・委託など事業の効率化・省力化に向け実施手法に改善の余地はないか ・国等の補助金の活用など市の財政負担を軽減する余地はないか ・受益者負担は適正か	A (2) 事業効率化・コスト縮減等の改善の余地はない	B	・工事にあたっては、コスト縮減を図っており、施設の統廃合等も視野に入れ、効率的な施設整備を行っている
		B (1) 事業効率化・コスト縮減等がある程度図られている		
		C (0) 効率化が図られていないため大幅な見直しが必要である		
⑤ 政策面における効果	・事業の実施が市の政策、施策の推進に効果があったか ・総合計画及び主要計画等の目標達成を図る上で有効に機能したか	A (2) 効果があった	A	・市長公約である「安全安心な上水道の提供」の実現に効果があった
		B (1) ある程度効果があった		
		C (0) あまり効果が見られなかった		

合計	9 / 10	→	100点換算	90 点
----	--------	---	--------	------

分析・評価で明らかになった課題(FA)評価にするために何が必要なかを記入)	・更に効率的で安全な施設となるよう水需要を見極め、管理コストの縮減につながるよう老朽化対策や耐震化等を進める必要がある。
---------------------------------------	--

(参考) 前年度事業評価結果(二次評価)	・総合計画をはじめとする各種計画に基づき、施設整備・改良を進める。 ・施設整備を必要とする箇所数が多いため、財政推計との整合性を図りつつ施設整備を推進する。 ・統合した簡易水道についても同様に実施する。
----------------------	---

## 4 今後の方向性(Action)

課題等に対する28年度の対応状況	・基幹管路耐震化や老朽管の布設替、道路改良・下水道事業に伴う布設替等を実施する。
------------------	--

担当課における次年度の考え方	○	維持・改善		拡大		縮小		廃止の検討		H27完了		H28完了予定
	・総合計画をはじめとする各種計画に基づき、施設整備・改良を進める。 ・施設整備を必要とする箇所数が多いため、財政推計との整合性を図りつつ施設整備を推進する。											